

平成 28 年 10 月 11 日

意見発表

藤井(深)委員

公明党神奈川県議会議員団を代表して、平成 28 年第 3 回定例会建設・企業常任委員会に付託された各議案について、賛成の立場から意見、要望を述べさせていただきます。

はじめに、平成 28 年度 9 月補正予算案についてですが、9 月補正予算には、東京オリンピック競技大会のセーリング競技のため、江の島大橋を含む臨港道路の拡幅整備に向けた実施設計等の費用と、湘南港にある艇の移動先の一部を確保するとともに、葉山港の船舶保管所の改修に向けた実施設計等の費用が計上されております。既に東京オリンピックまで 4 年を切っており、地元の意見を丁寧に聞きながらも、プレ大会、そしてプレプレ大会に間に合うよう、しっかりと取り組んでいただくよう要望します。

次に、空き家対策についてです。

県内でも各地で空き家が発生しており、空き家対策の推進は急務となっております。空き家対策は市町村が主体となっていくことは承知しておりますが、市町村が空き家対策を主体的かつ円滑に進めるに当たり、専門的な観点から関係団体とのネットワークを活用した支援が効果的であると考えております。このため、広域自治体として県が市町村の支援を行うことは重要であり、引き続き市町村の空き家対策が一層進むよう取り組んでいただくよう要望いたします。

次に、ホームドアの設置と支援についてです。

東京メトロ青山一丁目駅で発生したような痛ましい事故はこれで最後にしなければなりません。また、2020 年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるなど、神奈川にも多くの人々が訪れることとなります。そのため、視覚障害者も含め、誰もが安心して鉄道を利用できる環境を整えることは重要であり、ホームドアの設置は鉄道駅のホーム上の安全対策として最も有効な方策であると考えます。様々な課題はありますが、更に多くのホームドアが設置されるよう、県は連絡調整会議の場などを活用し、鉄道事業者や関係者と情報共有や連携をしっかりと行い、今後も、鉄道事業者が実施するホームドア設置を積極的に支援することを要望いたします。

次に、地籍調査事業についてであります。

県においては、頻発する自然災害への備えとして、市町と連携して地籍調査に取り組む必要があります。そのためにも、予算の確保を含め、しっかりと市町を支援し、一層の地籍調査の促進に努力していただくよう要望します。

次に、東名高速道路における渋滞対策についてであります。

県内の高速道路ネットワークの整備が着実に進む中、東名高速道路の渋滞対策を実施することは、ネットワークの効果を最大限に発揮させ、県民の利便性の向上、経済の活性化につながるものであります。県としても、引き続き、高速道路会社をはじめとする関係者へ積極的に働き掛けるなどして、対策がしっかりと進むよう取り組んでいただきたいと思います。

次に、企業庁関係についてであります。

最初に、神奈川県内のダムの効果についてですが、先人たちが築いてくれたダムについて、今後も県民の皆様が安心してもらえるよう、県と国の各ダムで綿密な連携を図り、引き続き効果的なダム管理に努めていただきたいと思います。

次に、城山発電所についてですが、城山発電所は、電力ひっ迫時の予備供給力としての役割だけでなく、夜間の余剰電力を消費するといった全体需給調整を行うために必要な発電所であります。今後も、電力システム改革の動向を注視し、県民のライフラインである電力と水道用原水の安定供給という経営電気事業の役割を果たしていくため、最善の活用ができるよう検討していただきたいと思います。

次に、広域水質管理センターについてですが、水道水質検査は、県民の安全・安心のために大変重要であるので、今後も、5事業者がしっかり連携して業務に取り組むよう要望いたします。

最後に、水道営業所の委託業務についてですが、水道営業所が実施している量水器点検業務、未納整理業務、休日夜間の当直業務委託を統合した発注については、事業者の意見も聞きながら、より良い形となるよう検討をお願いいたします。

以上、意見、要望を申し上げさせていただきまして、付託されております全ての諸議案に賛成をいたします。